

「さびを防ぐ」技術講演会のご案内

ご挨拶

鋼材は、私達の社会生活に欠くことのできない素材として、様々な分野に使用されています。

鋼材は、多くのエネルギーと労力を費やして製造されますが、そのままでは腐食損傷し、“さび”を生じます。四方を海に囲まれて湿潤なわが国の環境は、鋼に“さび”を生じやすく、“さび”による経済的損失は、GNPの約1%、年間5~6兆円に達すると言われています。

このため、鉄鋼製品および鋼構造物の必要十分かつ確実な防錆・防食対策の確立は、地球環境にやさしい循環型社会の形成にとり非常に重要なことと言えます。

このような見地から、私どもは毎年、全国各地にて「さびを防ぐ」技術講演会を開催し、溶融亜鉛めっきによる防錆・防食技術の普及推進に取り組んで参りました。

この度の講演会は、東京にて開催いたします。皆さまのご参加をお待ちいたしております。

日時】 令和元年10月4日(金)

13:00~17:00(開場12:00)

【場所】 TKP 東京駅大手町

カンファレンスセンター

東京都千代田区大手町1-8-1

KDDI 大手町ビル

【交通】

- 東京メトロ「大手町駅」C1 出口横
- 「東京駅」丸の内出口徒歩10分

【講演内容】(予定)

主催 一般社団法人 日本溶融亜鉛鍍金協会
日本鋳業協会 鉛亜鉛需要開発センター

後援 経済産業省 関東経済産業局
一般社団法人 東京建築士会
一般社団法人 日本建築構造技術者協会

協賛 一般社団法人 日本防錆技術協会
公益社団法人 腐食防食学会
一般社団法人 表面技術協会

(以上 順不同)

・開会挨拶	13:00~13:05
1)「溶融亜鉛めっきの基礎」	13:05~14:05
一般社団法人 日本溶融亜鉛鍍金協会 技術部長 平川 剛	
2)「溶融亜鉛めっきに関する話題あれこれ」	14:05~15:20
株式会社デンロコーポレーション 工学博士 今野 貴史	
~ 休 憩 ~	15:20~15:30
3)「溶融亜鉛めっき鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計施工指針(案)」	15:30~17:00
鹿児島大学学術研究院理工学域工学系海洋土木工学専攻 教授 工学博士 武若 耕司	

【講演内容】

1)「溶融亜鉛めっきの基礎」

溶融亜鉛めっきは、溶融した亜鉛浴の中に鋼材を浸漬して鋼材表面に亜鉛の皮膜をつくる方法で、多くの鉄鋼製品の防錆にとり大変優れた処理法です。溶融亜鉛めっきは原理的には単純な方法に見られますが、鋼製品の形状や寸法などが多種多様にわたるため、現実には慎重に扱う必要があります。本講では一般溶融亜鉛めっきを対象として各種の鉄鋼製品の亜鉛めっき法につき概略をご説明いたします。

2) 「溶融亜鉛めっきに関する話題あれこれ」

溶融亜鉛めっきを使用した新技術や関心事として、①溶融亜鉛めっきの維持管理・補修、②溶融亜鉛めっき鉄筋、③めっき割れ、④亜鉛-アルミ合金めっき、等の話題について提供させていただき、知っているようでよく知らない溶融亜鉛めっきの技術や話題についてご紹介いたします。

3) 「溶融亜鉛めっき鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計施工指針(案)」

土木学会コンクリート委員会では、昭和 55 年 4 月に「溶融亜鉛めっき鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計施工指針(案)」を刊行していました。この指針(案)が発刊されてからすでに 40 年近くが経過しており、昨今の性能設計への流れに対応していないことなどから、今年改訂されました。この改訂指針(案)の考え方・概要についてご紹介いたします。

【CPD制度】

本講演会は、(公社)土木学会 CPD プログラム、(公社)日本建築士会連合会 CPD 認定プログラム及び(一社)全国土木施工管理技士会連合会の CPDS 学習プログラムとなっております。

(公社)土木学会 CPD プログラム学習履歴ご希望の方には、講演会終了後に受講証明証をお渡しいたします。

(公社)日本建築士会連合会 CPD 認定プログラム及び(一社)全国土木施工管理技士会連合会の CPDS 学習プログラムの学習履歴申請ご希望の方は、学習履歴申請を主催者が行いますので、当日はご本人様確認のうえ、CPD, CPDS 等の番号およびご署名を頂きます。

【お申込み要領】

定員	255名
参加費	無料
配布資料	講演予稿集(テキスト)
申込方法	当協会のホームページ 『各種ご案内>講演会』のページよりお申込み下さい。
申込締切	令和元年9月20日(金)(資料準備の都合上、定員になり次第締切ります。)

【注】講演予稿集等の資料は、会場にてお配りします(無料)。